

第3学年 学級活動（2）指導案

1 題材 うまくつたわったかな？ 〈イ 望ましい人間関係の形成〉

2 特に意識したい道徳的価値

礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接すること。 B-（8）

3 題材設定の理由

近年、小学生のスマートフォン保有率が上昇している。2014年度調査では17.1%だったのが、2016年度調査で27.0%になった。（「青少年のインターネット利用環境実態調査」2016年12月、内閣府）たったの2年で10ポイント近くも上昇しており、この勢いは今後も加速していくと考える。スマートフォンを所有すると、電話やメールをはじめ、メッセージアプリ（LINE等）やSNSなど、さまざまな方法で友だちと連絡をとりあうことができるようになる。最近ではインターネットに繋がったゲーム機でも、離れた友だちとメッセージのやり取りを行うような機能がついている。こうした機能は連絡が便利になる良さがある反面、利用の仕方に気を付けなければトラブルにも繋がってしまう。本校の児童も例外ではなく、いずれ近い将来にスマートフォンやインターネットに繋がったゲーム機を持つことが予想される。その時、電話やメール、メッセージアプリの有用性と危険性の両面から考え、それらをよりよく利用できるよう、本題材を設定した。なお、メッセージアプリやメールなどをしたことがない児童がそれらについてイメージできるように、文科省委託事業「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」（教材13）を資料として利用する。

本学級では、現時点で、自分専用のスマートフォンや携帯電話を所有している児童はいない。しかし、6年生を対象にしたアンケート調査によると、10%の児童が自分専用のスマートフォンを持ち、14%の児童が自分専用の携帯電話を持っていることがわかった。全国の調査と合わせて考えると、本学級の児童も近い将来、多くの児童がスマートフォンや携帯電話を持つことになるかと考える。本学級の児童は9月実施のアンケート調査によって以下のような実態があることがわかった。

- ①約半数の児童は友だちと連絡をとるとき、メッセージアプリやメール等を利用した経験がなく、直接対面しての口頭でのやりとりや手紙でのコミュニケーションの経験がほとんどである。
- ②残り半数の児童は、「親に連絡をとってもらおう」か、「許可をもらって親のものを使わせてもらおう」かしかない。
- ③自分で自由にメッセージアプリやメールを使用したことがある児童は皆無である。

このように、現在、本学級の児童は口頭でのコミュニケーションや手紙以外についての経験が皆無であることがわかった。経験がほとんどない現在、スマートフォンなどの通信機器を持った時の正しい利用について学ぶことで、将来手にしたときに正しい利用ができるようにしたい。本学級の児童の普段の様子としては、友達同士と対面して会話をしたり、遊んだりしてコミュニケーションをとっている。言葉だけでなく表情や態度から、相手の気持ちを察しながらコミュニケーションを図っている。しかし、時に、内容や言い方で相手を傷つけたり悲しませたりすることもある。これが、メッセージアプリやメールでのコミュニケーションになった場合、対面の時と比べて、相手の状況を判断する情報が乏しく、相手の意図や状況を理解しづらかったり、誤解をしてしまったりして、トラブルが生じることが考えられる。

指導にあたっては、「つかむ」で「友だちと連絡をとるとき」についてのアンケート調査の結果を示し、自分のクラスの実態や高学年の実態などを示し、本時の課題に迫る。次に、「さぐる」では、動画資料に出てくる主人公の問題点について考え、意見を出し合う。そうすることで、興味・関心に差がある児童に共通の問題意識を持たせる。そして、「見つける」では、具体的に何を改善していくことで友だちと上手にコミュニケーションをとれるのか考えるように、働きかけていく。また、動画資料の主人公の問題点や改善点について、グループや全体での話し合い活動の中で改善策を

練っていく。その際、動画資料の主人公と自分とを重ね、将来の自分の生活とも比較して考えるよう支援する。「決める」では、「見つける」で考えた改善策や予防策の例を元に、自分がメールやメッセージアプリを利用することになったときに気をつけていきたいことをワークシートに記入する。また、事後指導として、「決める」で実践しようと決意した予防策や授業の内容を本人が家族へ伝え、考えと行動が伴うように、家族の協力も得ながら働きかけていく。

4 第3学年及び第4学年の学級活動（2）の評価規準

観点	集団活動や生活の 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	自己の生活上の問題に関心を持ち、意欲的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しい学級生活をつくることの大切さ、そのためのよりよい生活や学習の仕方などについて理解している。
目指す児童の姿	○自分の生活を振り返り、友だちとのコミュニケーションのとり方を意識することができる <div style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</div> ○登場人物の課題について話し合い、自分にあったよりよい解決方法を考え、判断し、実践できる。 <div style="text-align: right;">【思考・判断・実践】</div>		

5 活動と指導の見通し

	活動内容	いつ	指導上の留意点・資料	目指す児童の姿と評価方法 ・評価【観点】（方法）（☆） ・授業改革10の視点（★）
事前	・アンケートを実施し、自分が友だちとどのように連絡を取り合っているのかを振り返る。	9月14日 （木）	・対面したコミュニケーションの他に多様な連絡の取り方が存在することを知らせる。	☆【関心・意欲・態度】 ・友だちとの連絡のとり方について知る。 （アンケート・観察）
本時	・協同思考による個人目標を設定する。	12月7日 （木）	本時の展開参照	本時の展開参照
事後	・ワークシートに記入した個人目標や感想を学級通信で保護者に紹介する。 ・学級通信をもとに家族で話し合う。	12月7日 （木）授業後 学級通信 配布後	・個人目標や感想を家族と共有できるようにする。 ・成果を継続的に生活に生かすことができているか確認する。	☆【思考・判断・実践】 ・自分が決めたことを実践し、ゲームの利用時間について改善していこうと努力している。 （ワークシート・観察）

6 本時の指導

(1) 本時のねらい

- 適切なコミュニケーションの取り方を，他者との関係性の中で考え，自分にも実行可能な方法を選択する。
- 相手や社会への影響を考えて行動する。（情報モラルカリキュラム a2-1）

(2) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法 ・評価【観点】（方法）（☆） ・授業改革10の視点（★）	資料	時間
つかむ	1 アンケート結果を確認する。	○状況によって相手と連絡する手段を使い分けていることを押さえる。 ・学校や家で直接会って話す。 ・約束をする時，電話で話す。 ・親にお願いしてラインする。	★①魅力的な課題・教材の提示 ★②体験的な学習の充実	・アンケート結果表	10分
	2 本時の学習で目指すゴールを理解する。	○上学年，中学校，高校と年を重ねる毎に連絡する手段が多様になり，自分達もこれからメッセージアプリやメールなどを使用していく可能性が高いことを知る。			
ネットゲームやメッセージアプリで，友だちに気持ちを伝えるときに気をつけることを考えよう					
		○自己決定カードを示し，これから気をつけていきたいことを書くことを知る。			
さぐる	2 動画を視聴する。	○動画を視聴する前に，登場人物の簡単な説明をし，問題点や改善点を見つけられるようにする。 ○実際に会わずに相手と連絡をとろうとすると，誤解が生じてしまうことを知る。	★③資料の活用 ★⑥学び合う活動の充実	・映像（教材13）	10分
	3 どうして，誤解が生じたのか考え，話し合う。	○場面毎の掲示物を用意し，イメージしやすくする。 ○文字やスタンプだけのやりとりでは，誤解が生じ，不快感が持続してしまうことを理解させる。			
見つける	4 どうしたら，誤解を生まずに相手と連絡をとれるかグループで話し合う。	○実際に会って話をしない限り誤解が生じやすいことを理解させる。 ○班で考えた解決方法を短冊に書く。 ○提示し，自己決定の参考になるようにする。 ○短冊を操作することにより，解決方法をまとめ，視覚的に見えやすくする。	★⑥学び合う活動の充実 ★⑤説明・発表の機会の充実 ★③資料の活用		10分

決める	5 友達と連絡をとりた いとき、どんなことに 気をつけたらいいの か考える。	○適切に判断をし、手段を使い分ける必要 性に気づかせる。 ○具体的な実践方法を自己決定できるよ う、「見つける」で出た意見や工夫を参 考にさせる。	☆【思考・判断・実践】 話合いの内容を参考 にしながら、自分にあ った実行可能な方法を 考えている。 (観察・ワークシート) ★⑦学習評価の推進	・ワーク シ ー ト	15 分
-----	---	---	--	---------------------	---------

7 板書計画

うまくつたわったかな

め オンラインゲームやメッセージアプリで。友だちに
気持ちをつたえるときに気をつけることを考えよう

つかむ **さぐる** ひろしとかずやはどうしてなかがわるくなったのか

れんらくのとりかたアンケート

3年1組	直せつ 合って話す	24	人
	メールや 電話	11	人
	ライン	0	人
6年生 (渡江小)	ライン	16	人
	ネット ゲーム	17	人

8人

みつける ひろしとかずやは何に気をつければよかったのか

相手の気持ちのことも考える

ゲームをするときは直せつ会ってやる

会ったときにしっかりせつ明する

相手の顔を見て話をする

つたわりにくいことほしない

きめる

ふりかえり ワークシート
拡大版

これから使うようになる！